

エリアウェーブ

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

主な記事・紹介校・団体

- ・甲州市教育委員会・神金小 P2
- ・八代小・塩山高・八幡小・山梨小
- ・大和町中・石和西小 P4
- ・一宮南小・勝沼小・八代花鳥保
- ・山梨市役所 P6

人・自然・ふるさとを愛する 甲州教育

甲州市 教育長 保坂 一仁 氏

甲州市 勝沼地区の扇状地とぶどう棚（日本文化遺産）

今年度は刊頭特集として峡東3市の教育長に連載形式で教育所感をお聞きします。
第1回は今年度の地域教育推進連絡協議会 会長でもある甲州市の保坂教育長です。

Q (教育長に就任し) これまでの取り組みと成果は

ひとつには、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの発足とその推進です。「確かな学力」という名称ではありますが、学力の定着・向上を図ろうとする目的、根本にあるものは「人づくり」です。学校は知識教育の場ですが、同時に「勤勉さ」「誠実さ」を学ぶ場所でもあって欲しいと思っています。授業を真剣に、しっかりと学ぶ環境を作るために、子どもたちも先生たちも、保護者の方々も一緒になって「学び合える」関係であって欲しいと思います。このプロジェクトで年5回行う講演会も今年で10年目になります。少しずつでもその成果は教育現場に現れていると思っています。また、教育委員会の中に独立した形で「文化財課」を創設したことも取り組みと成果です。甲州市には歴史的価値の高い文化遺産がたくさんあります。地元の子どもたちがこれらを教材として伝統文化などを学び、探究することで自分のふるさとに興味と誇りを持った大人に成長して欲しいと思っています。

Q これからの課題は

甲州市に限りませんが、人口減少による少子化が問題です。(入学してくる)子どもたちがいなければ学校は成り立ちません。地域の学校が存続できるよう、これまで

以上に様々な工夫が必要になります。地域コミュニティーの象徴、中心である学校として、魅力あふれる教育を受けられる環境作りとそのアピールが必要です。

Q 今後の教育現場に期待することは

地域の持つ教育力を学校に還元してもらいたいと思っています。今年度から市内18校の全小中学校を「コミュニティー・スクール」に認定しました。これは地域の方や保護者が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。教職員は数年で他校へ異動してしまいましたが、地域の方はずっと関わることができます。「おらが学校」の意識の下、地域と学校が共に学び続ける環境であって欲しいです。甲州市ではこのように素晴らしい、地域の「人」から、「自然」から、「文化遺産」から、学ぶ素材がたくさんあるので、この制度は適していると思っています。



昭和50年、笛川中学校で数学教諭として教壇に立つ。ブラジル日本人学校教諭や塩山中学校長を経て平成23年から教育長。就任10年目。趣味・特技は陸上競技。69歳。

今回の取材では、保坂教育長の「甲州市の人的・物的・教育資源を最大限に活用し、共に学び合い、学び続ける」という揺るぎない理念が大変印象的でした。紙面の関係で一部しか紹介できませんでしたが、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

～甲州市の歴史を知って、よさをたくさん見つけよう～

甲州市教育委員会



ふるさと 甲州市

令和2年3月 甲州市教育委員会

塩山・大和・勝沼の3地区における代表的風景がレイアウトされた表紙

甲州市教育委員会では、塩山南小が受けた教育課程研究指定校事業の成果をまとめ、郷土学習の副読本「ふるさと甲州市」を刊行しました。コロナウイルスによる休校中、市内の各家庭にCATVでその内容の解説が放送されました。対象は小学校高学年でしたが、教室の通常授業で聴くだけでは違い、親子やきょうだいで一緒に視聴できたことで、あらためて地域・家族で郷土愛を共有できたのではないのでしょうか。この教材活用は、将来にわたってよりよい地域づくりに取り組む人材育成に貢献されるものだと思います。



家庭内で家族とともに視聴する塩山中の生徒と塩山南小の児童




ビデオ会議システムによるリモート学習の実践 甲州市立神金小学校

コロナウイルスの影響で休校が続く中、神金小学校では6年生の全家庭を対象に、インターネットを介したリモート授業を行ってきました。5月13日の運用初日に取材しましたが、最初はアプリケーションの使い方に戸惑っていた子どもたちも、あっという間に操作に慣れ、自分で撮影した画像を送ったり、意見や質問を出し合ったりと、さながら全員が同じ教室にいたように感じられました。



無人の教室でPC越しに「朝の会」を行う担任の先生



デジタル教科書のリモート授業で先生の質問に答える子どもたち

また、デジタル教科書を使った算数の問題にも、先生の丁寧な解説を受け、しっかり理解できていたようでした。

現在では通常授業が再開されましたが、休業中にも同質の教育環境が提供されたことは、全国的にみても先進的な事例であったと思います。



～学校が再開し、子どもたちの笑顔が戻ってきました～

笛吹市立八代小学校

笛吹市と甲州市では5月25日、山梨市では6月1日に、コロナウイルスの影響で休校が続いていた小中学校が再開されました。子どもたちは地域の交通安全協会の方や先生方に見守られながら、久しぶりに友だちと笑顔で集団登校を行い、玄関先で担任の先生と元気の挨拶を交わしていました。また、校舎に入る前にはしっかりと手の消毒や健康チェックを行い、コロナウイルスに負けない対策をしていました。これからまた、楽しい学校生活が始まります。



見守られながら元気に登校し、玄関で手指消毒を受ける子どもたち



～塩山高校の制服が新しくなりました～

県立塩山高等学校



新入学生代表生徒による誓いの言葉

5月25日、長い間コロナウイルスの影響で休校が続いていた県立学校が一斉に再開されました。塩山高校では今年度から新しくなった制服に身を包んだ新入生が入学式に臨み、校長先生から「これからがこれまでを決める」という言葉で、新たな学校生活に向けた激励を受けました。これは「これからの生き方次第で、これまでの人生の意味が違ってくる」というものです。

生徒たちは新制服に対して、口々に「可愛い」「着心地が良い」「他校にはない色やデザイン」など、おおむね良い評価でした。

希望でニットベストや黒いポロシャツを着ることもできます。新制服で気分も一新し、勉強や部活に打ち込んで欲しいと思います。



希望に満ちた新入生



～登下校は交通安全に気をつけて～

山梨市立八幡小学校・山梨小学校

八幡小と山梨小では、6月から通い始めて約1週間が過ぎた1年生を対象に交通安全教室を行いました。山梨市役所総務課の交通安全指導員や日下部警察署員など、外部の方を交えた初めての行事に子どもたちは真剣な表情で説明を聴き、校庭に作られた交差点や車の死角などをひとつひとつ丁寧に確認しながら横断していました。幼稚園、保育園の頃とは違い、子どもたちだけで学校まで長い距離を歩きます。交通事故にあわないことが、地域の人たち全員の願いです。



八幡小の1年生



山梨小の1年生



～リモートで講演会も職業講話もできます～

甲州市教育委員会・甲州市立大和中学校

甲州市教育委員会が毎年実施している「確かな学力」育成プロジェクト教育講演会は、今年度はコロナウイルス感染症防止対策のため、各学校においてリモート視聴する形式で行っています。年5回の講演会のうち、7月までに2回をこの形式で実施しました。単なる動画配信にとどまらず、テーマに沿って各会場で話し合う様子やその内容が他会場でも共有できるなど、さらなる教育効果が期待されています。

また、教育委員会の取得したライセンスを用いて、講演会時以外にも有効に活用できます。



PC 前の講師

各校へ配信

各校での視聴の様子



講師に質問する大和中の生徒たち

講師と一緒に器具を装着

大和中では2年生の講師を招いての職業講話をリモート形式で実施しました。生徒たちは双方向でやりとりのできるこのシステムにより、実際には遠く離れた距離にいる講師から、仕事内容やその仕事をする上で大切にしていることなどの説明を受けた後に、自由に質問したり、意見を発表し合ったりと、さながらすぐ近くで講師と接しているかのような体験ができていました。講師との「つながり」を通して「働くことの価値観」や「今の自分のすべきこと」に気づくことができていたようです。

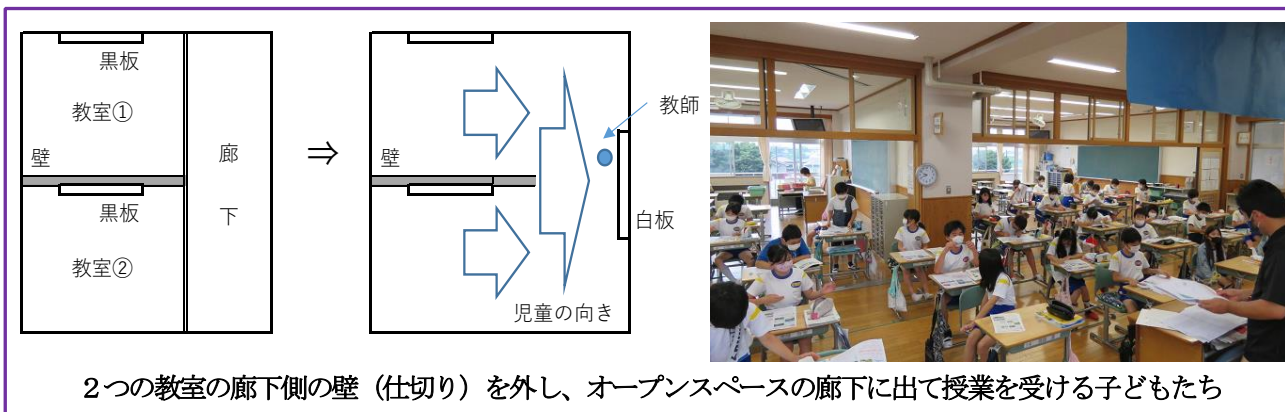


学校独自のコロナウイルス対策紹介

笛吹市立石和西小学校

石和西小学校では、オープンスペースの多い特異的な校舎の構造を利用し、独自の3密回避策を実施しています。各学年2クラス分の教室がありますが、1クラスしかない学年では机の間を1m以上空けるために、40人がもう一つの教室にも分かれた上で廊下にいる先生の

方を向き1つの授業として行うことができていました。広い廊下と取り外せる壁を持つ教室ならではの工夫ですが、全国的にみても興味深い授業方法だと感じました。各学校で感染防止対策に頭を悩ませていると思いますが、引き続き様々な工夫がなされていくことでしょう。



2つの教室の廊下側の壁（仕切り）を外し、オープンスペースの廊下に出て授業を受ける子どもたち



万全の対策のもと、大自然を満喫

笛吹市立一宮南小学校



薪で飯盒(ごう)のご飯を炊く子どもたち

6月18,19日、県立ハヶ岳少年自然の家で一宮南小の5年生が林間学校を行いました。コロナウィルスの影響で他の全ての小中学校で中止や延期が相次ぐ中、子どもたちのために学校側と施設側で何度も打ち合わせを行い、安全な実施に向けた検討を重ねてきました。徹底した手洗いや消毒はもちろん、本来なら1台で可能なバス移動を2台にして座席間の距離を確保したり、講堂や炊事場などを対角に広く使ったりと、密にならない様々な対策がなされていました。子どもたちは1泊2日の行程中、一人の体調不良者も出さず、元気よくフィールドワークを楽しんだり、キャンプ場で昼食を調理したりと、普段の学校生活では学べない貴重な自然体験を満喫していました。



自分たちで作ったカレー



保・幼・小連携のための授業参観・懇談会

甲州市立勝沼小学校

再登校が始まり約1ヶ月、勝沼小では1年生の出身保育園・幼稚園・こども園の先生方を招き、1,2年生の授業参観と懇談会を行いました。園児から児童への確かな成長を見届けるとともに、必要かつ有意義な情報交換が活発に行われました。何より、子どもたちは大好きだった園の先生に会えることを心待ちにしており、「自分の成長した姿を見せたい!」という気持ちもまた成長要因なのだと感じました。多くの学校、異校種間、地域でも実践していくと連携がさらに進むと感じました。



各園の先生方の来校に喜ぶ1年生



連携に必要な情報や活発な意見交換



園児の夏野菜収穫体験

笛吹市立八代花鳥保育所・社会福祉法人八代保育園



八代花鳥保育所の園児と先生

保育所や幼稚園では、情操教育の一環として独自の教育活動を行っています。今年度はコロナウィルス感染症防止のため、地域のお年寄りや小学生などとの交流行事がほとんど実施できていませんが、自然を相手にした農業体験だけは、例年と変わらずに実施できました。子どもたちは自分で掘ったジャガイモを見つけるたびに歓声を上げ、たくさんの汗をかきながらも、楽しそうに共同作業の大切さや自然の恵みのありがたさを学んでいました。



八代保育園の園児と先生



～新たな支援事業が始まりました～ 山梨市役所 健康増進課・学校教育課

山梨市では昨年度より、発達障害を持つ、または疑いのある子どもたちとその保護者を対象に、集団教室や個別相談を行い、子どもたちが家庭や集団の中で、その子の個性を生かしながら成長していけるよう、また関係機関とともに支援することを目的に、「山梨市子どもの発達包括支援事業」を開始しました。教育環境の中で支援の必要な子どもたちが進学するにあたり、より確実な連携が必要になります。この事業の特徴は、健康増進課だけでなく、学校教育課、子育て支援課、福祉課などの行政を連携させ、学校などの教育現場、ご家庭の3者で包括的にサポートしている点になります。具体的な事業は

社会福祉法人への委託で、保育園、幼稚園への訪問支援、幼児の集団教室、学童の集団教室、個別相談、関係機関への連携支援、保護者同士の交流支援などを行っています。

すべての子どもたちに安心・安全な教育環境を整えるため、積極的に取り組んでいます。



幼児集団教室で活動する子どもとその保護者たち



峡東教育事務所からのお知らせ

※ 7月9日（木）に予定されていた峡東地区地域教育推進連絡協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、書面協議とさせていただきます。今年度の役員、事業計画案は会員の皆様から了承されました。ありがとうございました。本年度役員は以下のとおりです。

会長	保坂 一仁 氏	(甲州市教育委員会 教育長)
副会長	河野 英明 氏	(笛吹市教育委員会 生涯学習課 課長)
副会長	小川 正仁 氏	(東山梨教育協議会会長 甲州市立勝沼小学校 校長)
副会長	加賀美 公人 氏	(笛吹市教育協議会会長 笛吹市立八代小学校 校長)
副会長	小尾 きよこ 氏	(山梨県立山梨高等学校 校長)
参与	久保田 英樹 氏	(峡東教育事務所 所長)
参与	坂野 修一 氏	(峡東教育事務所 副所長)

※ 現在、今年度の「ことぶき勸学院」峡東教室は諸事情により実施できていません。今後の2学年の活動に関しては再度連絡させていただきます。来年度は多くの方の入学希望をお待ちしています。

※ エリアウェブに取り上げてもらいたいことを募集しています。共有したい情報や、教育事務所への要望などがありましたら、随時ご連絡ください。

カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>



エリアウェブ
ホームページ

ご意見をお寄せください

お問い合わせ

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。

E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp

